

# 令和5年度 学校教育目標

## 思いやりと豊かな心を持ち 自ら学び たくましく生きる児童の育成

### <校訓 やさしく かしこく たくましく>

#### やさしく

##### 思いやりがあり、心豊かな子

- 自分から進んであいさつする。
- 友だちにやさしくする。
- いじめをしない、認めない、許さない。
- 感謝の気持ちを言葉や態度で表す。
- 動植物を慈しみ、物を大切にします。



#### かしこく

##### よく考え、進んで学ぶ子

- めあてに向かって学習に集中する。
- 人の話を最後までしっかり聴く。
- 自分の気持ちや考えを分かりやすく伝える。
- 既習事項を使って活用や応用をする。
- いろいろな考えを出し合い、学び合う。
- 進んで読書や自主学習に取り組む。



#### たくましく

##### 心身ともに健康で、わばり強い子

- 友だちと外で元気よく遊ぶ。
- 進んで健康づくりに取り組む。
- 何事も最後までやりとげる。
- 苦しさを乗り越えようとする。
- 身の回りの危険に気づき回避する。



★人間関係づくりについての学びや、主体的な活動・体験的な活動を充実させ、認め合い・支え合える集団づくりを推進し、ふれあいを通してやさしく思いやりのある児童を育てます。

#### ○ 全教育活動を通して道徳的実践力につながる指導を行います。

- ・ 特別の教科「道徳」の趣旨に沿って、学校行事や体験的な活動等と関連づけ道徳的な判断力、心情、実践意欲・態度を育成

#### ○ 縦割り班による助け合い、支え合う活動を積極的に推進します。

- ・ 諸行事等での異年齢交流活動の促進
- ・ わくわく班活動を通したリーダーの育成と思いやりの心の醸成

#### ○ 集団育成を通して一人ひとりを伸ばす学級経営を充実させます。

- ・ 一人一人が尊重され、【ルールの定着×リレーションの形成】が整った集団育成
- ・ 不登校・いじめゼロに向けた開発的（成長を促す）・予防的生徒指導の充実

#### ○ 偏見や差別のない、思いやりあふれる学校づくりを進めます。

- ・ 「学校いじめ防止基本方針」に基づいた計画的組織的な取組
- ・ 人権集中学習や人権講話、人権作文、人権標語、学級スローガンづくり等の充実

#### ○ 規範意識を確立し、かかわりと配慮のスキルを身に付けさせます。

- ・ 人間関係調整力を高める指導を特別活動を中心に推進
- ・ 高度情報化社会において、主体的に情報を選択できる自律した子どもの育成

#### ○ 一人ひとりの実態やニーズに応じた特別支援教育の体制を整備します。

- ・ 特別支援コーディネーターが中心となって関係者をつなぐ、チーム支援を推進
- ・ 全教職員の共通理解による子どもの困り感に寄り添う特別支援教育の充実

#### ○ 特別活動を通して主体性と協力を育みます。

- ・ 児童主体の委員会活動や集会活動の改善・充実（児童が主役の学校）

#### ○ 地域の方々との交流体験学習でやさしい心を育みます。

- ・ 感謝の集い、昔あそびやまち探検、米作りなどで、お年寄りや地域の方々と交流

#### ○ 美しく整備された環境づくりに努めます。

- ・ 清掃活動の充実による美しい生活環境の保全、環境教育の推進（エコ活動）

★個人が主体的に課題に向き合い、互いに意見を出し合って、めあての達成に迫る(創造)授業づくりで、分かる喜び・学ぶ楽しさ味わわせる「主体的・対話的で深い学び」を創造します。

#### ○ 子どもの可能性を広げ、新たな価値を創り出す学びを推進します。

- ・ 学びのツールにタブレットを加え、学習の効率化、多様な学びを推進

#### ○ 学び続けることの意義や目的を明確にもった学びを支援します。

- ・ 校内研修を核として、授業公開や授業研究等により、教員の学び合い、高め合い
- ・ 見通しを立てて自己調整的に粘り強く、振り返ったり、共有したりする学習活動の重視
- ・ 学力テスト等の結果分析を踏まえ、成果と課題を活かした授業改善
- ・ 学んだことを自分の生き方につなぐキャリア教育の充実

#### ○ 相互交流を通して学びを深める授業改善に努めます。

- ・ 相手を尊重した話や意見の聞き方、コミュニケーションの仕方
- ・ 場や目的に適した表現の仕方を身につけ、相手意識に基づいた伝え方
- ・ 学び合い、伝え合いを重視し、主体的な学びへの授業展開の工夫

#### ○ ICT活用による個別最適な学びと協働的な学びの充実を図ります。

- ・ 児童一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会の設定
- ・ 多様な考えの共有、深化を促す効果的な活用

#### ○ 基礎的な知識・技能の定着を図ります。

- ・ 朝学習、漢字・計算コンテスト等で、基礎基本の定着

#### ○ 家庭と連携して、学習習慣の定着を図ります。

- ・ 6年間を見通した学習習慣の指導、「筑井小学習規律について」の推進
- ・ 年間5回の「家庭学習のススメ」期間の設定 家庭と連携した学習習慣の定着

#### ○ 個に応じたきめ細かな指導体制を工夫します。

- ・ 学習サポーターや前橋国際大学の学生ボランティア等によるきめ細かな支援・サポート

#### ○ 読書活動の質的向上を図ります。

- ・ 朝の読書、読み聞かせ、家庭学習での読書を推進充実
- ・ 図書室、県立図書館との連携により、読書時間の充実、読書環境の整備
- ・ 図書委員会による多読賞、ビブリオバトル開催などで読書推進

#### 社会に開かれた教育課程による学校づくりを推進します。

#### ○ 学校の取組や教育動向などの情報を定期的に発信します。

- ・ 学校だより、学年・学級通信の発行、Webページの更新、学校公開等

#### ○ 同僚性と協働性に満ちた教師

#### ○ 外部人材や地元企業、前橋国際大学等との連携を推進します。

#### ○ 地域の教育力の一層の活用を図ります。

#### ○ 学校評価（外部評価等）、学校評議員会を学校経営の改善に生かします。

#### 経営の基盤

- ① 「県学校教育の指針」「前橋市教育振興基本計画」「まえばし学校教育充実指針」を基盤とした教育
- ② 「主体的・対話的で深い学び」を創造するための基盤となる学級集団を育成するとともに、人間的なふれあい（互恵的相互交流）を基本とした学習指導・生徒指導等を展開する。
- ③ 今日の教育課題に向けて教職員一人一人の持ち味を生かした協力的体制づくり
- ④ 学校・家庭・地域社会が一体となった活力ある学校づくり

#### 教師の信条

#### ○ 同僚性と協働性に満ちた教師

- ・ すべての児童をすべてのスタッフで担当する。
- ・ 「学校は組織である」情報をつなぎ、関係を紡ぎ、組織を機能させる。

#### ○ 高い人権意識と指導力を持った、学び続ける教職員

- ・ 児童理解に基づいて適時適切な指導行動ができる教師
- ・ 学力テスト等の結果分析を生かした授業改善ができる教師
- ・ 子どもに学ぶ教師、同僚に学ぶ教師、地域に学ぶ教師

#### まえばし学校教育充実指針

#### 夢や希望をはぐくむ学校文化の創造

#### 多様な人と協働しながら、主体的・創造的に活動する子供

「個を伸ばす」「認め合う」「創り出す」「未来へ」

【柱1】学校力を高める学校経営 【柱2】魅力あふれる教育活動  
家庭・地域とつながる学校づくり